

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法是十分に理解した上で正しくお使い下さい。
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

● はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、注意事項、使用方法を十分にご理解頂いた上で正しくご使用下さい。又、本製品は間違った使い方をされると、人的障害や物的障害が生じる他重大な事故に発展する恐れがあります。



警 告

- ・本製品は自動車整備士資格を有する方がご使用下さい。自動車整備士資格をお持ちでない方は使用しないで下さい。
- ・修理技術者以外の方は本製品の分解、修理、改造を行わないで下さい。
- ・作業方法は整備書等を確認しよく理解して下さい。作業方法が不明な場合は使用しないで下さい。
- ・異常が発生したときは、機械を起動させないで下さい。
- ・ご使用の前に、必ず安全な条件下で条件をお守り下さい。
- ・すべての機械保護装置、その他の保護手段、および全ての安全装置が設置され、適切に機能していることを確認して下さい。
- ・作業場に子供等の作業に関係のない人を近づけないで下さい。
- ・本製品を安全に使用する為、使用環境に合わせて、安全手袋、保護メガネ、耳栓、安全帽、作業着等の保護具を着用して下さい。
- ・本機を使用するときは、常に指示、制限、警告に従ってください。
- ・飲酒後や薬を服用した後、または無理をした後は、絶対に機械を使用しないでください。



注 意

- ・危険な場所(ガソリンスタンドなど)で機器を使用する場合は、安全規制に注意して下さい。
- ・爆発の危険性がある場所での操作はしないで下さい。
- ・本製品に爆発性物質を吸入すると爆発性ガス又は混合物が発生し、機器が侵食することがあります。
- ・可燃性のガス、液体、紛塵(反応性紛塵)を吸い込まないようにして下さい。
- ・破壊性または酸塩基反応性の金属ダストを送らないで下さい。
- ・アルカリや酸の原液を送らないで下さい。
- ・有機溶剤の送液はしないで下さい。(例：ガソリン、油脂希釈剤、燃料油等)
- ・人や動物に向けて機器を使用しないで下さい。
- ・特に電源接続用リード線と延長ケーブルは、毎回運転前に機器と付属品が良好な状態にあり、安全に使用できることを確認して下さい。損傷している場合は、電源プラグを抜いて、機器を使用しないで下さい。機器の電源を切りプラグを抜かない限り本製品を放置しないで下さい。
- ・低温の屋外(0℃以下)では使用しないで下さい。

モデル	JTC7005
電源	100V 50-60HZ
定格出力	1200W
使用空気圧	0.6-0.8 MPa
くるみ殻粒使用量	1.5-2KG
機械質量	36KG
サイズ	H810 x W430 x D570

付属品

アダプターセット	1	ゴーグル	1
メインマシン	1	グローブ	1 ペア
空気圧計	1	くるみ殻粒	2KG



正面



背面



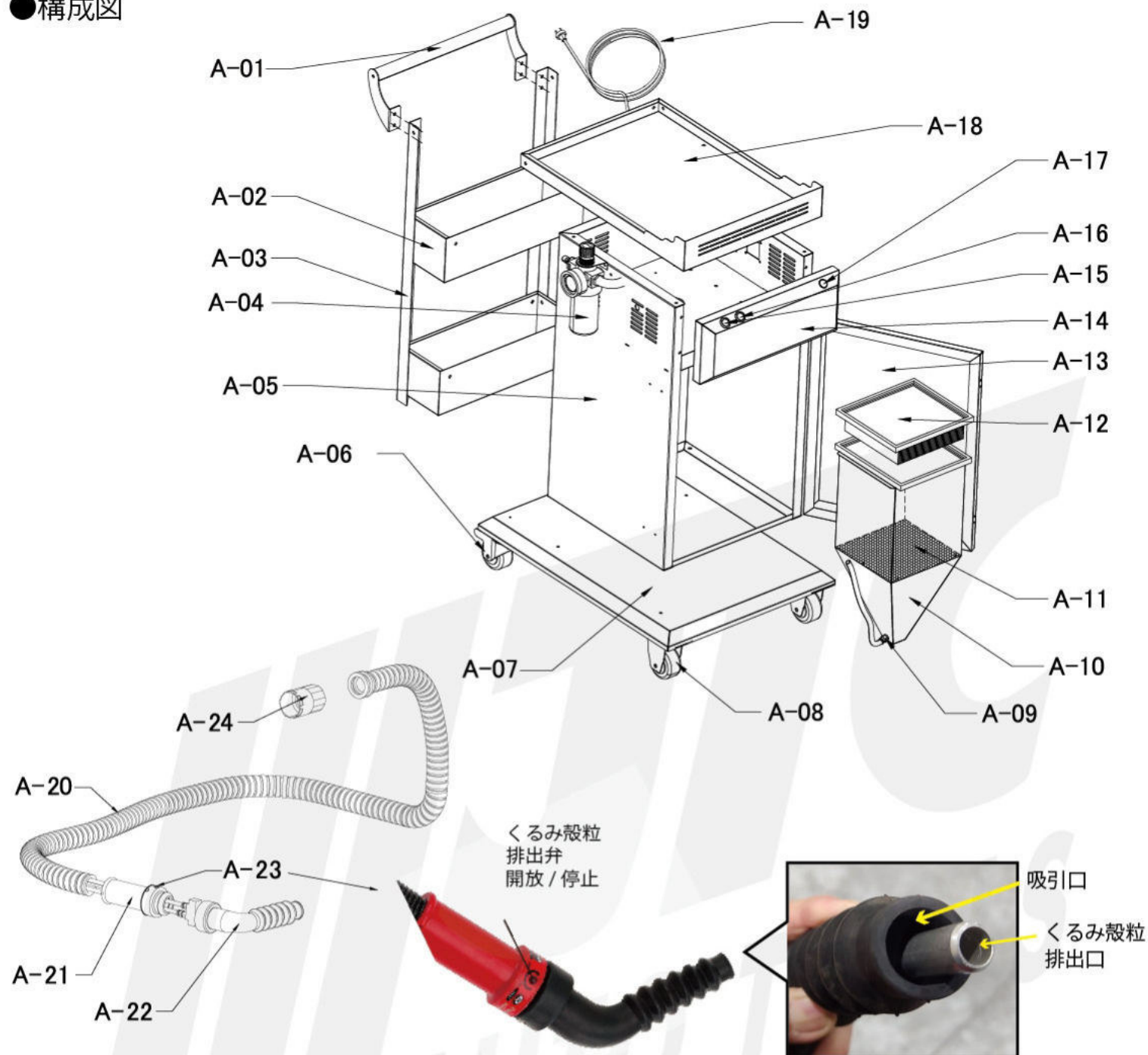
- 目的
- くるみブラストは、車輛のエンジンのインテークバルブに付着したカーボンをクリーニングする為の機械です。インテークバルブにエアーでくるみ殻粒を噴出させカーボンを洗浄し、バキュームでくるみ殻粒と汚れを吸引しくるみ殻粒を循環させるクリーニングです。
- 本来の用途以外には使用しないでください。本機の不適切な使用によって生じた損害については、一切保障致しません。十分ご理解頂きご使用をお願いします。

重要

この説明書は、あくまでもガイドとして提供されています。最新の手順やデータについては、必ず自動車メーカーのサービスマニュアルを参照してください。

本機の操作は、訓練を受けた人、または本書をよく読んで機械の操作に習熟した人が行ってください。誤用、警告や指示に従わない場合、または機械部品の勝手な変更は、機械の故障や破損を招くことがありますので、絶対にやらないで下さい。

●構成図



番号	部 品 名	番号	部 品 名
A-01	ハンドル	A-13	キャビネット扉
A-02	収納ボックス	A-14	操作板
A-03	コラム	A-15	吸引スイッチ
A-04	レギュレータ	A-16	JET スイッチ高圧エア噴出
A-05	本体ボックス	A-17	ブラスト作動スイッチ
A-06	ロック付きキャスター	A-18	ツールプレート
A-07	底板	A-19	100V 電源 & 電源コード
A-08	キャスター	A-20	メインホース
A-09	ホースジョイント	A-21	グリップ
A-10	クルミ補充タンク	A-22	ブラストガン
A-11	アミ	A-23	くるみ殻粒排出弁 開放 / 停止スイッチ
A-12	フィルター	A-24	コネクタ

●作業時には規定に沿った保護具を着用して下さい。

1. 使用する前に保護具を着用して下さい。作業場に部外者がいない事を確認して下さい。

2. 本体の裏面の【A-24】コネクタを本体に差込みます。(写真1・2)

【A-13】キャビネットドアを開き、【A-10】くるみ補充タンクの両サイドを手で押さえ手前に引き出します。(写真5)

※全て引き出すとタンクが外れてしまうので注意してください。

フィルターを外し専用のくるみ殻粒を使用に必要な分量入れて下さい。(写真6・7)

※くるみ殻粒の量が少ない場合排出がスムーズに排出されない場合があります。

※4気筒エンジンの場合0.5～1kg程度でクリーニングできます。

※汚れのひどいエンジンに使用する場合は1気筒ずつくるみ殻粒の状態と汚れ具合によっては新品と入れ替えて使用する事をお勧め致します。ホース内にゴミが詰まると排出されなくなります。

フィルターを元に戻し上部のレールに正確に補充タンクを差込しっかりと奥まで押込みます。左(写真8)

※差込が不十分の場合吸引能力が低下します。キャビネットドアを閉めて下さい。

3. 100V電源をコンセントへ差し込みます。【A-15】【A-16】【A-17】各ランプが点灯していない事を確認してください。(写真10)

※点灯している場合はスイッチをオフにして全てのランプが点灯しないようにしてください。



(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)



(写真5)



(写真6)



(写真7)



(写真8)



(写真9)

●電源操作説明

吸引スイッチ (ON 緑点灯) JET スイッチ (ON 青ランプ点灯)

くるみ殻粒
排出弁開放時
赤ランプ点灯

各スイッチ ON でランプが点灯します。

吸引スイッチ (緑)：吸引機能

JET スイッチ (青)：高圧エア噴出機能

排出口開放 (赤)：くるみ殻粒排出時点灯



(写真10)

警告

赤いランプが点灯している時は、くるみ殻粒排出弁が開放中です。

使用しない時は必ずくるみ殻粒排出弁は停止してください。

※停止していないと周囲に飛散し怪我や破損の原因となります。

※各スイッチは単体で機能します。

エンジンにセットして使用する時

以外は JET スイッチとくるみ殻粒

排出弁は必ず停止させてください。

JET スイッチをエンジンに使用する時

以外に ON にするとエアとホース

内に残ったくるみ殻粒が排出され

危険です。怪我や車輛等破損の原因

となりますのでご注意ください。

4. レギュレーターにエアコンプレッサーから供給されるエアを接続します。

ノブを引き上げます。(写真 11) 空気圧を 0.4 ~ 0.6MPa の間で調整してからノブを押し下げ、ロックします。(写真 12) 加圧時の事故を防ぐため、接続は確実に行って下さい。



(写真 11)



(写真 12)

付属のスプーン



5. 洗浄する箇所のインテークバルブのピストンを上死点にしてバルブを閉じた状態にします。

※必ずピストン側へ入らないようにしてください。

吸気口の入り口にカーボンが溜まっている場合は付属のスプーン等でカーボンを粗方取り除いてください。

(写真 13) ※カーボンが多い場合、回収時ホースの詰まり、洗浄力の低下、モーター破損の原因となります。

特にオイルを含んだ粘着性のあるカーボンに使用した場合、作業後はくるみブラストのホース、タンク内は綺麗に洗浄してください。ホース内にカーボンが残ると詰りの原因となります。

洗浄する吸気口の入り口に適合するアダプターを選択して吸気口へマスキングテープでアダプターの間隙から漏れないようにしっかりと止めてください。(写真 14)

6. ブラストガンの先端をアダプターへ差込ます。塞がれている事を確認します。(写真 15)

車の内部構造に入る可能性のある他の穴が塞がれていることを確認します。

くるみ殻粒がエンジン内に噴出される事のないように注意してください。

(写真 13)



(写真 14)



(写真 15)



7. 電源は必ずブラストガンをエンジンの吸気口に接続した状態で ON にしてください。

注意：エンジンの吸気口に接続して無い状態で電源を ON にするとくるみ殻粒が噴出し周囲に飛散し、怪我や車輛や周囲の物の破損の原因となります。

エンジンに接続した状態で最初に左側の吸引スイッチ（吸引）を押します。（緑色）が点灯し、

先端から吸引が始まります。次に JET スイッチを押します。（青色）が点灯し、先端から

エアが排出されます。（ホース内にくるみ殻粒が残っている場合排出する事があります。）

ブラストガンの（黒）ボタンはサンドブラスト機能を ON/OFF にします。

スイッチをオンにすると操作パネルの赤ランプが点灯します。（点灯中はくるみ殻粒が排出中です。）

くるみ殻粒が噴出し洗浄が開始されます。

8. エア漏れやくるみ殻粒が外に飛散しないか確認してください。飛散した場合は、直ちにブラストスイッチ

JET スイッチ、吸引スイッチの順に OFF にしてください。飛散箇所を確認し、飛散ないように処理して

再度電源を入れクリーニングを開始して下さい。噴出されたくるみ殻粒と洗浄されたカーボンが吸引され循環しクリーニングをいします。

9. クリーニング後、ブラストガンの（黒）ボタンを押してサンドブラスト機能を停止させます。

5 秒間後、ブラストスイッチ（緑色）、吸引スイッチ（青色）スイッチを押して停止させます。

操作ヘッドを引き抜き、カーボンのクリーニングを終了します。

●機器メンテナンス等

※カーボンクリーニング1台事にくるみ殻粒は、新品に交換する事をお勧めします。

・定期的にくるみ殻粒の状態を確認して下さい。不純物が多い場合や、くるみが粉になっている場合は、交換して下さい。

※カーボンクリーニング後はタンク内、及びホース内に煤汚れ、カーボン等のゴミが残ります。

電磁弁等の詰まりの原因となりますので必ずタンク内の清掃、ホース内をエアブローで清掃してください。

※くるみの排出が弱い、吸引力が弱くなった場合グリップ内部でカーボンが蓄積されて潤滑が悪くなる場合があります。グリップを分解清掃してください。

1. メンテナンスの前に、本製品がエアーに接続されていない事、回路内に圧縮空気がない事、電源が切断されている事を確認して下さい。
2. メンテナンス、クリーニング、修理の前に、必要に応じて保護具を着用して下さい。
3. 本機のメンテナンスは、本製品の構造を熟知した人が行ってください。
4. 本機の運転中は、機械の開口部や中空部に体や手、足を入れないで下さい。
5. 機械が安全に動作するよう、定期的に点検・整備を行って下さい。
6. クリーニング、サービス、部品交換の際は、必ず本機の電源を切り、コンセントを抜いてください。
7. 機器の修復作業は、その分野の重要な安全規制をすべて熟知した専門家だけが行って下さい。
8. オイル／ウォーターセパレーターは定期的に清掃し、損傷がないかどうか確認して下さい。
9. 安全点検を行う場合は、短絡やその他の損傷がないことを確認して下さい。
高圧洗浄機等で本機を洗浄しないで下さい。
10. フィルター交換（カーボンの付着物を約5台分掃除した後に交換することを推奨）
・くるみ補充タンクを取り出し、上部よりフィルターを取外して交換してください。
11. ブラスト機能に十分な圧力がない場合、または動作が停止した場合、エアーレギュレーターが正常に作動しているか、空気圧が0.6～0.8 MPaに達しているかを確認して下さい。
・ボックス内のエアダクトを塞ぐ異物がないか確認して下さい。
・レギュレーターの油水分離器のカップを点検して下さい。水が溜まりすぎると、くるみが湿気を含み配管に詰まります。
・長期間掃除しないでいるとほこりがたまりすぎて、吸引力が弱くなります。
フィルターに異物が詰まっていないか確認して下さい。
・フィルターの交換が必要かを確認して下さい。
12. 吸引機能でゴミが漏れた場合
・フィルターが正しくセットされている事を確認して下さい。
・フィルターを交換して下さい。
13. 吸引機能が停止する又は吸引力が弱い
・コンセントを確認して下さい。フィルターの詰まりを確認してください。
・機器の電源コードと電源プラグを確認して下さい。
14. 吸引音はするが、回収機能が作動しない
・配管が外れていないか、配管に異物が詰まっていないか確認して下さい。
・くるみ補充タンクに異物があるかどうかを確認して下さい。



JTC7005
くるみブラスト
使用方法

URL:<https://youtu.be/-LBKIRMGqd0>

●グリップ部分の分解メンテナンス

※くるみの排出が弱い、吸引力が弱くなった場合グリップ内部でカーボンが蓄積され、くるみの回収、排出の潤滑が悪くなる場合があります。定期的にグリップを分解清掃してください。

グリップ部分のステッカーを剥がしてください。グリップの6箇所プラスネジを取外してください。(写真 16)

グリップを分割して青丸部分に付着したカーボンを清掃してください。(写真 17)

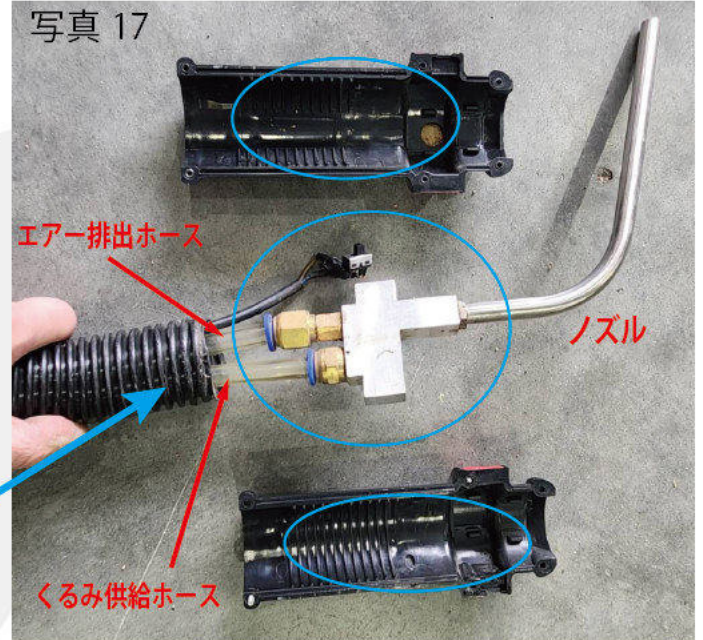
グリップ側の黒色のホース内部からと、本体タンク側から交互にエアブローで清掃してください。

タンクのくるみ供給ホースとグリップ内のノズルからホース2本を取外し本体の電源を入れ、くるみ殻粒排出弁を開放してホース内をエアブローしてください。ホース内に残ったくるみが排出されるのでホース排出側はウエス等で受け取るようにしてご注意ください。ノズルのアダプター内を清掃してください。清掃後の組み立て時、黒色ホースをしっかりとエア排出ホース、くるみ排出ホースが隠れるまで差し込んで元に戻してください。(写真 18) グリップ部分の分割部が隠れる様にシールを貼り密閉させてください。

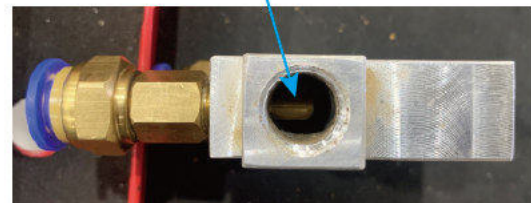
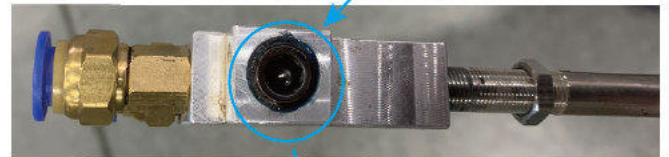
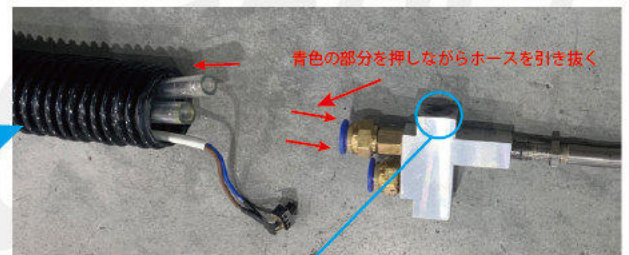
写真 16



写真 17



エアブロー



内部に汚れがある場合洗浄剤等でしっかり洗浄してください。汚れがある場合くるみ排出が弱くなります。

タンク側
ホース

写真 18

